

はじめに

小山市立中央図書館は、「豊かな人と地域を創る図書館」をキャッチフレーズに、国立国会図書館をはじめ栃木県立図書館や他の公共図書館、関連機関との連携を図るとともに、市内の小山分館・間々田分館・桑分館・大谷分館・公民館図書室・配本所及び移動図書館等のネットワークを活用しながら、4つの機能を果たしています。

- 1 小山市における図書館サービス網の中核機関としての役割
- 2 参考図書館としての役割
- 3 直接サービス部門としての役割
- 4 保存図書館としての役割

これらはすべて相互に関連し合い、中央図書館の役割を果たすこととなります。

今日の複雑化・多様化する社会情勢の中で、利用者の学習意欲に応え、資料や情報を提供する公共図書館の役割は、ますます重要度を増しています。社会の変化や新たな課題等に対応して、図書館運営にも新しい視点や方策を取り入れていくことが求められ、また、利用者のニーズに沿ったより良い図書館サービスを提供するためには、図書館職員の資質向上が不可欠であり、司書の知識・技術の蓄積と継承が重要なものとなります。

図書館は、幅広い年代の人々が交流する生涯学習の場として、また小山市における情報の発信基地として、図書館資料の充実と、市民の教養を高め、情操を豊かにし、生活に役立つさまざまな図書館活動を展開するとともに、課題解決型の図書館を目指し、“資料”と“機会”と“場所”の提供による市民の学習・創造活動をサポートし、市民とともに歩む図書館作りを推進してまいります。

小山市立中央図書館長